常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番

衣料品の店　三都屋　三都屋　三都屋
平市二丁目
電1720

市営バス検討も用意

革新会　市會に萩原氏推す

市政革新会は十五日午後七時から平市マルトモホールで記者団と懇談、席上今次の平市長と市議選にからんで革新会からの助役説、幹部役員の市議選出馬説等について「革新会は市長に野崎、市議選に萩原氏を推し、その他は一さいを白紙に返して両氏の必勝を期す」とその態度を明らかにすると共に、市営バスの運行についても検討する用意のあることをほのめかし注目を集めた。

懇談会の席上、革新会では同会の結成とその後における現市政攻撃に奔走した経過を披れきしたのち記者団の質問に語つたところを要約すること、

野崎氏の市長選出馬から萩原氏の助役説も当然考えられ、巷間でもうわさにのぼつたわけだが助役、収入役と言う問題より先づ市長の必勝が先決であること、更に市会運営の完全民主化を計るために、歴代平市会議長中最も公平にしてその手腕を高く評価されている萩原氏を再度市会に送り出すことが第一と考え、その他のことは一さい白紙に返して両氏の必勝を期すことになつた、また市営バスの運行問題についても検討の用意は十分ある、ただ現在の市財政の範囲内で運行を強行することには疑問がある」

と言うものだが、アジビラ合戦を選挙期に持ち込んだ点については市民の盛り上る時期を利用したと腹の底をチヨツピリのぞかせた。

市長問題に終止符

常磐、市議改選でお流れ

（既報）合併当時の議会に於ける発言をタテに「公約だから辞退しろ」と一部市議会議員から吊しあげを喰い、その去就を注目されていた。常磐市長矢吹荘司氏は、過般再度開らかれた市協議会においても結論を得ぬまゝいずれも流会となり、反対派議員の間では緊急市会を招集して態度を決定しろと反対運動を続けていたが、十五日の市議選告示とゝもにこの運動は効力を失い自然消滅となつてしまつた。したがつて同市長の辞任問題は、別に法的には何らの根拠もないので、このまゝ任期一ぱい勤めることになる模様である。

法的に問題なし

この問題に関して地方事務所選管委では次のように解釈している。「就任当時の議会で発言したからと言つて、それは何ら法的根拠がない。本人が辞めないと言えばそれまでの話である。市議選挙後に新らしい議会が生れてそこでこの問題をとりあげても結局同じ法的解釈である」

滞納整理

地方事務所

石城地方事務所税務課では十九日から常磐、磐城、内郷市、四ツ倉勿来菊田三郡、二十五日から平市の県税、事業税、遊興飲食税の滞納整理にのりだす事になつたこれによつて約二千万円一千件のトラツク百台電話加入権、家具類等多数の差押物件の引揚を行い五月初旬競売を実施する事になつているが同税務課では「悪質な滞納は今後とも続行厳重処分する方針で進んでいるがこれ等滞納者の早期納付を望んでいる」と語つている。

寄宿舎規定の説明会

この程改正された事業所附属寄宿舎規定を管内各事業所に普及徹底させるため、平労基署では二十一日午後一時から同署二階会議室に於て「改正された一部規定」の説明会を開らく、講師は福島労基局の佐々木監察官。

市議立候補者氏名

十六日市会議員立候補届出をしたものは次の通り（正午まで）

平　市

▼阿部長兵衛(五四)無、現、鎌田字小山下二五農業、平市議一期磐中

▼佐藤友寿(五七)無現、中神谷字瀬戸農業、元平機関区助役、神谷農業共済組合組合長、高等小卒

▼鈴木政一(四六)無現、上平窪字横山十八農業、平農業組合長、中学中退

▼白石正臣(三五)無新、赤井字不動堂十七鉱員、日曹赤井炭砿労働組合長高小卒

▼滝川保夫(三二)無新、北目町一三電気工事業、スクエアーダンス磐城サークル会長、平市陸協会常任理事、平商中退

▼鈴木隆衛(六五)無新、赤井字羅田七三木材業赤井村議二期、赤井村長一期磐中中退

▼永山宗七(六四)無新、沼ノ之字新街一五一農業、現豊間農業協同組合長、元豊間町議会議長、高小卒

▼篠崎貫(五二)無新、草野下神谷字御城六八農業、草野中小学校PTA顧問、平地区保護司電気学校卒

▼福田長一郎(五三)無新、中平窪字富貫内六二農業、平市農業共済組合損害評価委員長平四小、一中、平工高PTA顧問、平市農協理事四期、高等小学校卒

▼鈴木寅次郎(七六)無現、白銀町四会社重役磐城中学校卒

▼小野碧秋(五二)無現、中山字薬ケ谷五三農業、農業協同組合理事高小卒

▼上坂昇(三七)無新、長橋町二十二会社員、平地区労議長、元日本水素労組合長、早稲田大学政経部

▼土屋一男(三九)無新、赤井字不動堂労日曹赤井炭砿社宅七十ノ二団体役員、現日曹赤井炭砿労組書記長青年学校卒

▼鈴木勇(六三)無元、下平窪字曲田六十一会社員、現常磐商事KK社長、元平市農業会専務理事、平一小卒

▼渡辺昇(四六)無新、泉崎字岸五十農業、高小卒

内　郷

▼高萩昌平(六九)無新農業

▼佐藤作造(六七)無新商業

縣下青年大会開く

県連合青年会（会長矢内之雅氏）の第二回県下青年大会は会津、県北、県南浜通りの各地区代表約八百名が平市公会堂に集まり、来賓多数の列席があつて十六日午後二時から開かれた、開会の辞につづき高木松吉代議士から祝辞がのべられ、県下優良青年団として伊達郡保原町大田青年団に福島民報寄贈の優勝旗、田村郡要田、双葉郡葛尾両青年団に准優勝たてが授与されたのち本年度事業計画、綱領施行方針と各支部青年会提出議案の審議に移つて午後四時第一日目の日程を終了した。

なお明十七日は午前九時から本会議を行う。

あすから縣社祭

平さくら祭りの最後を飾る。県社子鍬倉神社の祭礼は、明十七日から十八日にかけて盛大に行われるが日曜に加えて、常磐炭砿はじめ炭砿街の山神祭挙行中とあつて、お天気さえよければ桜祭り終尾をかざるに夥わしい人出が予想されている、測候所の御宣たくは「曇り時々小雨」とあり心配させている。

名物のみこし渡御、呼物の子供みこしなど町内の子供たちは大張り切り、十八日は恒例により同祭典を祝して銀行、学校関係は休日することゝなつた。

ベーブルース野球一日延べ

十五日からふた開けした常磐炭砿の山神祭は、十六日早朝からの降雨にわざわいされて、各砿の諸行事も火の消えたようなさびしさ、祭典最大の呼物である。ベーブルース杯争奪野球大会も予定を一日繰り延べて十七、十八両日浅貝、及び金坂両球場で挙行することゝなつた。

岩石の下敷で重傷

十五日午前七時三十分ごろ大日本勿来炭砿坑内で掘進枠入作業中の勿来町酒井字出蔵二〇掘進先山夫佐々木真之さん(三八)は押木を上げようとしたが切張が邪魔になつたので四本あつた切張を三本まで切つた時、切羽正面の岩石がくずれ落ち頭部を狭まれて負傷、直ちに勿来病院にかつぎ込んだが頭がい骨骨折で生命危篤。

タヌキとキツネの化し合いに用心

市政革新会では十五日平市在住の記者団と懇談会を開いたが、席上革新会でも市営バス運行は考えていると御披露に及んだ。諸橋現市長が去る日記者団に対し「市営バスの運行計画」を発表した際、市政革新会のリーダー格である大畑（康）議員が得意の毒舌で選挙運動であると決めつけたことを想い併せると誠にこつけいである。

更におもしろい事はバスの運行なるものが、容易に出来るものでないと言うことを両者とも知りつつしている上で、この問題を取り上げていることとである。革新会の言葉を借りて申すならば、諸橋党の市営バスは実現出来ても出来なくとも良い計画であり、時過ぎてから予算がなくて出来なかつたと言いばそれでも済む、しかし革新会の場合は候補者が専門家であるから一たん取りあげてからは知らぬ存ぜぬで済まされないし、また現在の平市で市営バスを運行すれば市財政が苦しくなるだけであることを専門家の立場から知つていながら取りあげることは市民のためにならないと考え黙殺して来たと言うのである。

御意見は全くごもつともであるがそれほどムズカシイ事業を何かんのとヘリクツをつけながらも結局両者とも取り上げて市民に色気をみせるところに問題が秘んでいる、合併市民が常磐交通の専横？さにごうをにやし、親切な市営バスの運行を望んでいることは論をまたないが、出来そうもないことや、やればそんをするようなことに色気をみせてまで市民の鼻息をうかがうようなそぶりはもつてのほかである。

もちろん市営バスに反対はしない、大いに賛成ではあるが、市営バスのタヌキ論議で大事な選挙をバカされてはたまらない。（M）

野崎氏演説

あす夕公会堂

平市長選に立候補した野崎満蔵氏は明十七日午後七時から平市公会堂で立候補初の演説会を行うが、応援弁士として県出身衆議院議員栗山代議士及び参議院議員伊能代議士が登壇することになり、対諸橋戦の今後はますます活発化し、一騎打ちの激戦は予想以上のものがあるのを思わせている。

天気予報

（今晩）明日は南東の風引き続き雨が降つたり止んだりのぐずついた天気でしよう。

（明後日）北よりの風晴れたり曇つたりとなりましよう。

（海上）今晩明日も見通しがわるく風波が高いですから漁船は引き続き御注意下さい。明後日はおさまつて来ましよう。

祖國印　地下足袋　運動靴　長靴　袋屋本店

新春の　既製服と背広生地と洋品　スプリングコート大量入荷
株式会社　鈴木勘氏商店
平市一丁目電1638　平和通り電732

ロミオとジュリエット
總天然色

前賣券發賣中

才槌小路　平運動具店
一丁目　金澤屋
二丁目　エンドー
三丁目　三幸
四丁目　マルトモ
六丁目　佐藤太鼓店
大通り　高野文化堂

大人　100圓
學生　80圓
当日　大人　130円　学生　100円

★前賣券枚数に制限がありますからお早くお買求めおき下さいませ

ネオンアーチ完成祝賀　ひかり座御招待
◇賣出期間　四月三十日まで
◇御招待　五月三日まで
◇百圓お買上げ毎に補助券一枚十五枚で入場券と交換します

平市銀座街商店會

欺された女二題

或る刑事のメモから

【其の一】特飲店に田村郡の片田舎から売られて来た某女(三)は、住込んで以来三カ月間と云うものは実家に只一度の便りもしなかつた。「実家に心配をかけたくないと思う孝行心があるならしばらくだまつて居た方が良い」と周旋屋にまるめ込まれたのを正直に守つていたのだ。

彼女の父、母は「便りもよこさないで…」と娘の安否をきづかつていたが、これさえも例の口八丁に押えられ「便りのないのは先方が気に入つて一生県命働いている証拠ですよ、ちよいちよい手紙がくるようでは勤めに身が入らないと言うものだよ…」など云い、彼女は売られたことに気がついたがあきらめも早かつた。どうせ家に居ても流行の洋服一着買えないんだもの、こゝで働いてキレイな身なりを整えるのだと先輩に負けず勤めをはげんだ。

或る日同村の男が平市に遊びに来てとんでもない所に売笑婦となつてる彼女を発見し、話は尾にヒレをつけて村中にひろまつてしまつた。父親と兄が平市にふつとんできたが「帰る」意志をもたぬ女…そして今の商売に満足している娘になつているのに驚きの目をみはつたのである。

首をタテに振らない娘をようやくだまして連れて行つたが…最近風の便りによると、また家を飛び出したそうだ。行先は判らないが一度おぼえた商売への未練が絶ち切れなかつたのだろう。ズブの素人、それもコヤシくさい女を古物品のようにうりとばし、甘い汁を吸つていたあの悪周旋屋夫婦を恨みもせずに…。

戀人を売つた男

【其の二】赤井村のはづれにいた大沼愛子さん(三)=仮名=は村の人気者で女性間にかなり評判のよい大田弘(三七)=仮名=に思慕を寄せていたが、村の祭りのときちよつとしたキツカケから話をするようになりズルズルと男の云うなりになつてしまつた、

長い間慕つていた男に、愛されている喜びをおしえ込まれた愛子さんはもうこの男なら何をされてもかまわない、どんなことでもしよう」と全くの盲目に陥つたのである、さんざもて遊んだ挙句大田は彼女を茨城県大津港へ連れて行き、同町の特飲店Aに三千円の手数料をとつて売りつけた、「僕のためにしんぼうしてくれ、そのうちきつと迎えるに来るから…」とか何とかうまく云われてそのまゝ女給生活へ足を踏み入れて、彼氏が迎えに来てくれる日を唯一の楽しみにしていたと云う、しかし彼女の希望は日を追つてうすくなつて来た…、男からは何の便りもなくまして会うことなど思いもよらぬことだつた、

二月下旬ごろ警察の人が同女を訪れ親達が探しているから…」と云われた…これより数日前平署に、赤井の或るおかみさん差し出しの一通の手紙が舞い込み「私の娘同様に面倒をみている女が、ある男に売られたらしいから調べて下さい」とあつた。

平署からの紹介で同地にいることが判つたものだが、親の云うことなど耳にもかさずあの人が迎えに来るんだと未だに男を信じていた……ほれた因果でずるい男を憎み切れぬところは女の弱さでもあろうか、男は誘拐罪で逮捕送検された。

銘菓 ト段最中 平凡

割烹 開花 田町電一三八九

渡邊氏に大臣賞

表彰三十回の優秀事務官

二十日郵政省で表彰

郵政省では二十日二十九年度事業成績優良者と永年勤続者を表彰することになつたが、平郵便局関係では同局保険課事務官渡辺一雄氏(四三)が帝国ホテルで挙行される表彰式場で晴れの大臣賞を受け、二十一日天皇陛下の拝えつを賜ることになつたほか、次の諸氏が表彰される。なお晴れの大臣賞を受ける渡辺事務官は、これまでに郵政局長賞十回をはじめ、県知事賞、通貨安定本部長賞など三十回にわたつて表彰をうけている模範局員である。

▽大臣賞、事業優秀者、平局保険課渡辺一雄氏▽永年勤続賞(三十年)平局郵便課長大友義明氏、同貯金課主任渡辺小治市氏、田人局蛭田克氏、勿来局星勝美氏、中ノ作局沢田春吉氏、勿来局赤津源氏、合戸局吉田林之助氏▽仙台郵政局長賞、事業優秀者、富岡局大浦トツ英氏、江名局戸部うめ氏▽平郵便局長賞、平局保険課末永義晴氏、同庶務課酒井利重氏

一夜に三校荒す

同一犯か平署捜査始む

十五日夕刻から翌十六日早朝にかけ平市桜町磐城女子高校と平一小同二小校の三カ所に賊が入り、校内を荒した盗難事件がおこり、届出をうけた平署で同一犯人の仕業とにらみ捜査を開始した。

▽第一小校では午前一時ごろから六時ごろまでの間に入られたようで、職員室と裏側校舎を物色した形跡があり、被害は今のところ判然としないが職員用チケツト(額面三千円)二冊が盗まれている。

▽第二小学校は同校裏から侵入三教室の机の中を片つ端から荒しているが盗まれたものは不明

▽磐女高は十二時すぎに入られ会議室や職員室は無事だつたが体育室入口の戸がはづされ中にあつた教官用体操ズボン、チヤンバー、コートなど四点が盗まれた

百日セキ予防

平市では第三回百日セキ予防接種日程を左の通り決めた。(午後一時から四時迄)

▽十八日旧市内(公会堂日本間)▽十九日草野地区(草野公民館)平窪地区(四小)▽二十日飯野地区(五小)高久地区(高久支所)▽二十一日神谷地区(六小)赤井地区(赤井小)▽二十二日夏井地区(夏井公民館)豊間地区(豊間小)で第三回接種を受ける者は第二回の接種を受けた者、料金は二十五円であるが、生活保護者は免除される

ハイヤーと三輪車衝突

十四日午前九時三十分ごろ四倉町中町国道上で四倉町玉山山野辺一(四二)の運転する三輪車と同町新町三和タクシーのハイヤー=運転手芳賀正男(三四)が正面衝突、ハイヤーは右フアインダー、ライトに二万円、三輪車はボデーに二万五千円の損害を受けた。原因は山野辺が酒に酔つて運転していたもの。

浴衣コンクール開く

ニツコーデパート

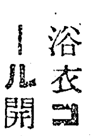
ニツコーデパートでは山神祭協賛大売出しで十五―十八日まで春の新柄パラソル、東京本染ゆかたコンクールを開き又春のセーター類の特売をしている。

労基法違反で送検

鬼が沢落盤事件

(三報)平労基署では八日午後三時三十分頃内郷市宮町鬼ガ沢日高見炭砿綴砿業所(責任者山本七郎)本坑 右一片本層坑(坑口から六十五米)で作業中落盤があり枠入作業を手伝つていた同宮町鬼ガ沢選炭婦斎藤キヨノ(四四)さんは下敷となつて左肋骨骨折心臓あつぱくの重傷後死亡した、支柱夫海藤作次郎(四〇)が手伝わせたもので海藤は無事だつたが女子が坑内落盤で死亡した事件は平労署始つて以来の出来ごとであり九日根本係官が現地に急行悪質な労基法違反容疑で調査取調べた結果。

十五日副所長三枝啓雄(三九)現場員武田義雄(四二)採炭夫海藤作次郎(四〇)を労基法第四六、一一八、一二一条で書類送検した。



百二十八報 水草 竹本喜美太夫作

吹けよそよ風水草ゆれる
春の小川に目高浮く』
春の小川の水草さいも
浮ぶ瀬ありやこそ花も咲く』
水もぬるんで春待ちわびて
浮ぶ水草花も咲き』

ラジオ古山

耳目

市内某候補者朝のうちに届出も無事に済ませて、今日から十五日間の大本営である事務所を開き、町内有志、関係者を大勢あつめて、礼装に身をかためた某参謀が千代万代の神々に必勝を祈願、まずは出陣の祝はいを上げんものと一升瓶を持つた途端に手をすべらせてガチヤンと四離滅々……

▽年若い候補者サツト顔を曇らせ不吉な影が走り「シマツタ一升(一票)が散つた」と口にでた、居合せ連中もとつさの事で慰めの言葉もなく、下をうつむくと浮世の裏表に百戦練磨の腕を買われて事務長になつたつわ者がにんまりとさかづきを上げて「升が散つたのでなく票が増たのだよ」……

祝 祭 典
紳士服……　婦人服……
装身雑貨……　各種豊富取揃え……
平市三丁目 盛髙屋 TEL 1608

桜まつり 全店 春もの売つくし市 15日→18日
◆春のお支度はお済みですか
衣料のことなら鈴藤が一番です
◎スプリングコート オール 一割引
◎春の服地ツエード ジヤージー系
大巾値下断行
各種セーター 大廉売 子供物は130円より
本年から晴雨傘を始めました
新しい柄と品質と御値段を御参照下さい
店頭特売所 メリヤス肌着 セーター
読売大サーカス 御招待券進呈
衣料品のデパート 鈴藤

外科 内科 金成医院 平市鍛田町 電話八二六番

PEARL 春の味覚! みつ豆の季節となりました
フルーツみつ豆 あんみつ 御試食下さい
レストラン パール 社長 金子松男
平市田町 TEL.1388

三台の美容いすに五千余人
花藤美容サロン開設以来、三台の美容イ子になんと五千数百人のお方が坐つて頂きました、これほど女性の方から好かれたイ子はありますまい、まだお坐りにならぬお方は一日も早く、どうぞお出かけ下さい
◎資生堂化粧品 二〇〇円より
◎コーセー 一〇〇円より
藤越

貸切の御用命は 電話640番
尼子タクシー

不動産売買・仲介鑑定貸家斡旋
福島県知事許可公認取引所
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際色川材木店内電三六一番

厚生指定医療病院
整形外科 外科 内科 レントゲン科 理学診療科
竹林病院
院長 竹林貞吉
医長 津田守明
医員 高見沢三